

地域の人々と医療を結ぶ。阿蘇立野病院のコミュニケーションマガジン

春号

Spring No.

# たての日和

No.25

医療法人社団 順幸会  
阿蘇立野病院 発行

TATENO BIYORI



Column 25

「糾える縄」

順逆を越えて  
歩んでいく決意

# 「糾える縄」

## 順逆を越えて歩んでいく決意

去る3月12日、日本医師会と6病院団体の緊急合同声明が発表されています。医業利益が赤字病院の割合は69%まで増加し、危機的状況であるという内容です。私どもは、その実体は8割以上が赤字との見解を持っています。由々しき事態です。なんとか先のコロナを乗り越えた傷ついた状態にもかかわらず、診療・介護報酬という公定価格の制度において値決めが許されない個々の医療機関の無力さをひしひし感じます。

少子超高齢化という単語はすでにおなじみになりましたが、当地ではすでに2040年の日本の将来の平均的な社会となっています。慢性的な働き手不足はいよいよ切迫し、閉鎖する医療機関あるいは施設は10年間で10を超えています。医療機関が無くなるというまさかの日が来るかもしれません。

直美(ちよくび)という単語を知っていますか？新卒の医師が2年間の臨床研修医制度を修了したのちに美容外科に直接入職することを言います。一昨年の数値を調べると、その医師たちが年間に大学病院2施設分、つまり200人に及ぶというのです。美容外科より一般診療科の需要が多い当地のような地方

が、近い将来医師不足に陥るのは目に見えています。



順幸会理事長 上村 晋一

「禍福は糾える縄の如し」「幸福は不幸の仮面を被ってやってくる」と先達から伝わるように順境と逆境は常に互いに回転しているものです。つまり喜びは憂いとなり、憂いは喜びとなることを知り、順逆を越えて歩んでいく決意を持つことを意味します。地震があり、「コロナがありました」が、この地で医療ができる事実は何ものにも変え難い喜びに違いありません。

さて医師への働き方改革が適応され1年が経過します。当初は勤務時間の関係上、大学病院からの休日夜間日直当などの派遣は厳しいものになるかも知れないと思われました。しかし、そこは地域医療の崩壊に直接繋がると政府、厚労省、医師会等の危機感も反映され、回避されつつあります。私たちは、これからの子々孫々のためにお互いの立場を理解し、乗り越え、明るく朗らかに周囲に感謝しながら堂々と地域に貢献できるように強く歩を進めたいものです。

## 新年度挨拶

3月で雪が積もる今年の冬もようやく終わり、暖かい日が続くようになりました。2020年7月に済生会病院からこちらに移ってきて、まもなく5年が経過しようとしています。熊本地震の傷跡はあるもののインフラ整備は一通り終了し、常勤医師のメンバーや病床数など、地震後の復興という目標から、次のステップに移っていると思います。阿蘇地域は高齢化としては他の地域より早い段階で到達しており、その人口はすでに減少しております。また働き手不足や医療Dxへの変化などについていけず、クリニックや病院の閉院も以前よりその速度を増して認めるようになってきました。南阿蘇唯一の病院として、生き残りをかけた戦いがすでに始まっています。地域に求められる、また働き手に求められる病院を目指して、皆さんの声を聞かせて頂きたいと思います。



院長 片山 幸広





## 職員紹介

訪問リハビリテーション  
三上 佳子

令和6年9月に入職し、半年が経ちました。訪問リハビリテーションは、初めての経験になり、まだ不安もありますが、周りのサポートもあり、楽しく勤めさせていただいています。一人でも多くの方が、住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、サポートしていきたいと思っています。



## 新入職員 ご紹介 New staff

地域の皆さま、これからどうぞよろしくお願いいたします! /



看護師  
山田 美羽



看護師  
一宮 菜々



准看護師  
市原 裕子



医局秘書  
村上 藍



社会福祉士  
柚上 昇太

## やさいの重ね煮教室

【あそ総合医療研究所】

やさいの重ね煮をご存じですか。やさいの特性と陰陽論を基盤とした心と身体を調えるおすすめ調理法です。あそ総合医療研究所の料理の学び場「ごはんひといabo」では遥々、長野県安曇野から料理家戸練ミナ先生をお招きして2日間の教室を開催致しました。



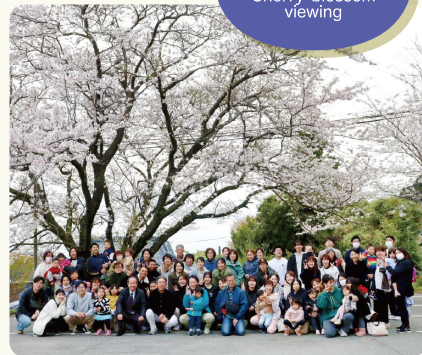
TATENO INFORMATION

お花見会  
Cherry-blossom viewing

# 満開の桜の下で 春を感じる

【花見会】

穏やかな晴れ間のもと満開の桜に囲まれて花見会を開催しました。多くの職員と子供達も参加し、笑顔あふれる時間となりました。職員同士の親睦を深めることができました。職員手作りの赤飯などの差し入れもあり、とても美味しくいただきました。来年も笑顔あふれる花見会を開催できるように励んでまいります。



## 阿蘇立野病院の理念



### 「ぬくもりと安心の医療」

ぬくもりと安心の職場であり、ぬくもりと安心の医療を提供できる病院であることを目指します。



#### 基本方針

- ・私達は、親しみと温かい身内の心で患者さんをお迎えします。
- ・私達は、患者さん中心の誰からも信頼される病院をめざします。
- ・私達は、自己研鑽に務め、チーム医療を充実し、質の高い医療を提供します。
- ・私達は、医療・福祉を通じて、地域の文化・環境を大切にします。
- ・私達は、生活を共に考え、病気の治療ばかりでなく、予防にも努めます。

#### 患者さんの権利

- ・人間として尊重される権利
- ・知る権利と自己決定の権利
- ・プライバシーを尊重される権利
- ・病気やその治療方法及び保険や予防について学習する権利
- ・医療従事者とともに医療改善の活動に参加する権利

私たちは、患者さんの権利を尊重する医療の実現に努めます。

病院機能

- 一般外来 ● 救急外来
- 人工透析 17床
- 入院 52床 (地域包括 52床)
- 院内リハビリ (PT・OT・ST) ● 通所リハビリ
- 訪問診療・訪問看護・訪問リハビリ
- 健診センター ● 自由診療

スタッフ募集!

一緒に働いてくれるスタッフを募集しています!

- 年間休日120日 ● 福利厚生が充実
- 職員寮や託児所あり

お気軽にご相談ください

tel 0967-68-0111 担当:野田輝美



### 阿蘇立野病院

ASO TATENO Hospital  
阿蘇南部地域在宅医療サポートセンター

〒869-1401 熊本県阿蘇郡南阿蘇村大字立野 185-1

☎ 0967-68-0111 阿蘇立野病院 検索



WEB



Insta